

ちよっと
ひといき...

茶ぐわくゆんたく



普天満宮前の通り

上の写真は、1963(昭和38)年の神宮大通りです。中央に写る普天満宮は、山と建物に囲まれて、じんまりとしています。拝殿の後ろに見える石門は、奥宮と呼ばれる洞窟内へ繋がっています。

当時、この通り周辺には複数の質店がありました。出征前のアメリカ兵が時計やカメラなどの貴重品を質に入れてお金を換え、近くの飲み屋で遊んでいたのです。沖縄の若者たちは、アメリカ兵が使った高価

な品物を少しでも安くで手に入れるため、質店に通いました。

下の写真は、現在の同じ場所を写しています。普天満宮の拝殿は大きく立派になり、洞窟へ続く石門と後ろの山を隠しています。

一方、通りには昔からの建物がそのまま残り、今も「質」の字を表に掲げた店があります。正月は歩道に屋台が並び、普天満宮へ参拝する人々が訪れます。来る年明けも、たくさんの方々が参拝して溢れることでしょう。



▲1963(昭和38)年



▲2016(平成28)年

【問合せ】市立博物館 ☎870-9317

はくぶつかんの部屋 35

進化します

何かと忙しい12月になりましたが、皆さまはいかがお過ごしですか。市立博物館は、例年と違った12月を迎えます。当館の常設展示室が「進化」するために閉室となり、見学ができなくなるのです。

当館の常設展示室の展示内容は、基本的に1999(平成11)年の開館当時のものです。つまり17年前の展示内容と設備で、みなさまをお迎えしています。しかし、さまざまな不具合がおきていて、当館の悩みのタネとなっていました。それは開館以来の17年間にあった新発見や研究の進歩による展示内容の大幅な修正と、映像コーナーなどの設備の老朽化や故障への対策です。これらの課題を大々的に改善して「進化」するリニューアル工事を行います。そのために常設展示室を閉室するのです。

工事に伴う常設展示室の閉室期間は、今月12日から来年の4月下旬を予定しています。常設展示室は観覧できませんが、企画展示室において「昔のくらし」をテーマとした展示をご覧ください。なお工事の内容によっては、お客様の安全のために博物館自体を閉館とすることもありますので、ご来館いただく際には、事前にお問い合わせください。



▲現在の常設展示室

リニューアルオープンの特期は4月下旬を予定しています。当館の常設展示は、一面して、皆さまのご来館をお待ちしています。「進化」した展示にご期待ください。

入館料無料となっておりますので、お気軽にご来館ください。